



ORNELLAIA

PRESSE RELEASE

第17回ヴェンデミア・ダルティスタ

2025年6月吉日

世界的な芸術家、パスカル・マルティン・タイユーが
オルネッライア「ラ・デテルミナツィオーネ(決意)」をテーマにアートボトルを制作

2025年6月12日～24日まで、ボナムス主催のオンラインオークションで競売に
グッゲンハイム財団を通じて展覧会に向けたアート作品修復を支援



芸術とワインの融合「ヴェンデミア・ダルティスタ」は今年で17回目を迎え、カメルーン出身のパスカル・マルティン・タイユーが、オルネッライア2022のキーワードである「ラ・デテルミナツィオーネ(決意)」を独自の芸術観で解釈し、アート作品を制作しました。

タイユーは、色彩の重要性と生きる喜びに深く根ざした創作スタイルを持ち、特定の手法やテーマに縛られない多様な作品で知られています。2022年ヴィンテージの作品の制作にあたり、植物のライフサイクルに焦点を当て、種子から発芽し、気候に適応しながら花を咲かせ、実を結ぶまでの過程を表現しました。

750mlのレギュラーボトルのラベルでは、異なる色の記号を配した同心円を描き、個々の要素が一体となることで生まれるエネルギーを表現しています。



ORNELLAIA

ダブルマグナム・ボトル（3リットル）では、砂漠地帯のひび割れた土壌から植物が少しずつ芽を出す写真を使用しています。各々のラベルは全てユニークで、植物が自らの決意で力強く成長していく異なる段階を表現しています。アンペリアル・ボトル（6リットル、10本制作）、および、サルマナザール・ボトル（9リットル、1本のみ）は、形状が全て異なる彫刻作品で、リサイクル素材から作ったカラフルなパッチワークのテキスタイルアートで装飾しました。

タイユは次のように述べています。「植物のライフサイクルという考え方に通じる何かを、自分の内面に焦点をあて、心の声に耳を傾けました。例えば、石の上に芽を出し、花を咲かせた植物を見て、私が芸術を通じて表現したいのはこの植物と同じだと思いました。人々は共に暮らし、働き、それぞれのやり方で世界を形づくろうとしています。私が見出した最も本質的な意味は、目標を達成する“勇気”でした。ワインは、人々をしっかりと結びつける特別な音楽のようなものです。私にとって、『決意』とは献身と勇気の表れであり、復原力や抵抗力とも関係しています。私は、自分自身の精神性を芸術的な『決意』に溢れた状態に高め、さらに同じパターンを繰り返すことで詩のような雰囲気求めました。人と自然、さらに広くは、環境と人間の視点から、『決意』を表現しようと考えました。」

タイユが手がけた14本の希少なアートボトル（アンペリアル・ボトル10本とサルマナザール・ボトル1本を含む）は、世界最古の美術品オークションハウスの一つ、ボナムスの主催により、2025年6月12日から24日午後2時(グリニッジ標準時)まで、オンラインオークションwww.bonhams.com/ornellaiaで販売されます。

オルネッライアグループの代表取締役社長、ランベルト・フレスコバルディ侯爵は、「パスカル・マルティン・タイユが、2022年ヴィンテージの個性、「ラ・デルミナツィオーネ（決意）」をモチーフに制作した作品を見て、心から感動しました。アートボトルは、勇気としなやかさが人に喜びをもたらすことを表現しています。彼のビジョンは、自然と人とのつながりがすべての基盤となる、私たちのワイン造りと深く結びついています。」とコメントしています。

オークションの収益は、7年間パートナーシップを組んでいる、ソロモン・R・グッゲンハイム財団を支援するために寄付いたします。2025年7月15日から2026年3月8日まで、ニューヨークのグッゲンハイム美術館で、「コレクション・イン・フォーカス：近代ヨーロッパの潮流展」が開催されますが、オークションの収益は、この展覧会を含む主要な展示会作品の修復や保存に充てる予定です。

2022年の天候と作柄

2月から6月までの5カ月間は過去4年間で最も雨の少ない天候となり、さらに、5月から9月は記録的な暑さとなりました。8月の終わりから9月に雨に恵まれ、乾燥と猛暑という極端な天候から理想的に回復しました。長期間の乾燥により、ブドウの成長が遅れて収穫量は減少しましたが、小粒で凝縮感の高いブドウに育ちました。収穫前の降雨により、ブドウの生育サイクルのバランスが元に戻りました。畑では、熟練した収穫チームが健全なブドウだけを厳選して摘み、醸造施設に搬入した後、さらに厳しい選果を二度実施しました。生産管理マネージャーのマルコ・バルシメッリは次のように述べています。「最適の凝縮度と豊かな個性が2022年ヴィンテージの特徴です。太陽の恵みを充分に感じる一方、圧倒的なフレッシュ感も備え、エレガントで個性がそのまま表れたワインに仕上がりました。乾燥と猛暑という2022年ヴィンテージの試練に正面から向き合い、例年よりプティ・ヴェルドの比率を増やしました。オルネッライア2022には、テロワールの特徴である、活力とエネルギーがはっきりと表れています。」



ORNELLAIA

ヴェンデミア・ダルティスタ

ワインと芸術の融合であるヴェンデミア・ダルティスタは、2006年ヴィンテージから始まりました。毎年、国際的に著名な現代芸術家を選び、そのヴィンテージの特徴を表す一語をモチーフに、芸術作品と限定ラベルを制作しています。芸術家がビッグフォーマットボトル（ダブルマグナム 100本、アンペリアル 10本、サルマナザール 1本）を制作し、サザビーズの協賛による慈善オークションで販売します。これまで、収益金を美術館での芸術支援活動に寄付してきました。ソロモン・R・グッゲンハイム財団では、視覚の非自由な人に芸術作品を鑑賞できる「マインズ・アイ」プログラムを推進しており、これまでの6年間、オークションの収益金の全額を同プログラムに寄付しています。今年で17回目となるヴェンデミア・ダルティスタは、国際的に有名な芸術イベントとして認知され、ワインと芸術を結ぶ稀少な活動となっています。

ソロモン・R・グッゲンハイム財団

1937年に設立。現代美術、および、近代美術の鑑賞と啓蒙を目的とし、展覧会、教育プログラム、研究、出版活動を展開しています。同財団は、グッゲンハイム・ニューヨーク、ペギー・グッゲンハイム・コレクション、グッゲンハイム・ビルバオという国際的な美術館ネットワークを運営しており、近い将来、グッゲンハイム・アブダビを開館する予定です。ニューヨークのグッゲンハイム美術館は、フランク・ロイド・ライトが設計した建造物と革新的な芸術作品が融合しており、「精神の神殿」と称されています。フランク・ロイド・ライトが設計した建造物はアメリカ国内に8つあり、ニューヨークの美術館はその一つとして、ユネスコの世界遺産に登録されています。グッゲンハイム・ニューヨーク美術館、および、世界各地でのグッゲンハイム財団の活動の詳細は、公式ウェブサイト guggenheim.org をご覧ください。

オルネッライア

オルネッライアは、極上ワインの代名詞であり、トスカーナ地方の美しさを余すことなく表現しています。畑はトスカーナの地中海沿いにあり、歴史的な中世の町、ボルゲリや、世界的に有名な糸杉並木まで至近距離にあります。オルネッライアのフラグシップ的なワインが、赤のオルネッライア（DOC ボルゲリ・スペリオール）と、白のオルネッライア・ピアンコです。セカンド・ラベルとして、赤のレ・セッレ・ヌオーヴェ・デル・オルネッライア（DOC ボルゲリ・ロッソ）と、レ・ヴォルテ・デル・オルネッライア、白のポッジョ・アッレ・ガッツェ・デル・オルネッライアも造っています。オルネッライアの初ヴィンテージは1985年。以降、35年と少しの年月で、経験と情熱に溢れる栽培と醸造チームと、土壌や地形が複雑に入り組んだ畑と地中海性のマイクロ・クライメイト（微気候）に最適なブドウを栽培することで、イタリア国内だけでなく、国際的にも高い評価を得ています。

【取材、画像手配に関するお問合せ】

杉原輝子

Tel: 080-3918-8288

email: teruko-sugihara@cecie.jp

ウィラハン・麻未

Tel: 090-6490-9701

email: whelehan@gol.com

【オルネッライアへのお問合せ】

Elena Oprea, Ornellaia Communication Manager

Tel: +39 348 465 7945

Email: elena.oprea@ornellaia.it